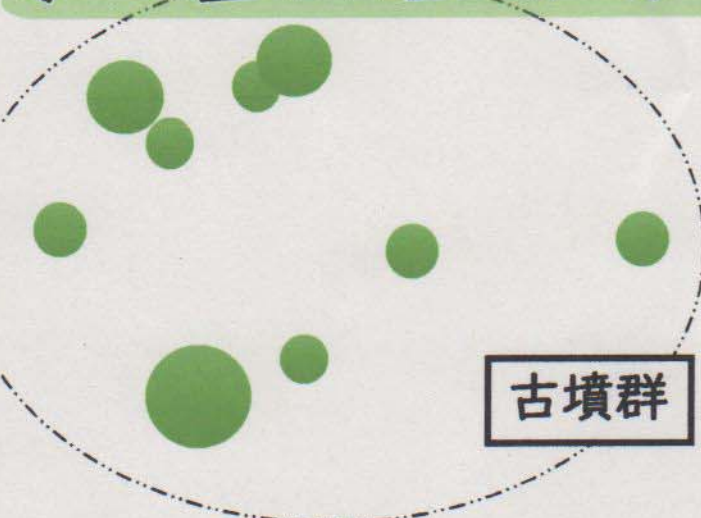


# 大室古墳群テータ



古墳群

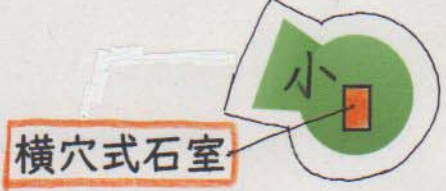
内堀1号墳

うしろふたごこふん  
後二子古墳

しょうふたごこふん  
小二子古墳

・石室は横穴式

- ・地中を掘って石室を低く造ることで墳丘の盛土を節約している
- ・低い石室への出入りのための墓道が作られる



横穴式石室



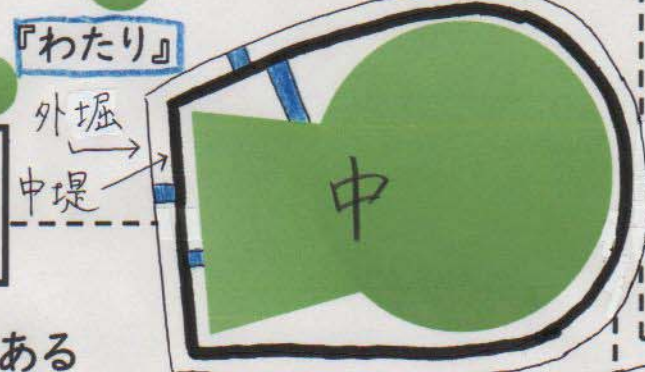
墓道

横穴式石室

なかふたごこふん  
中二子古墳

- ※石室の詳細不明
- ・古墳群で最大
- ・内堀, 中堤, 外堀がある
- ・内堀に古墳築造や儀式のときに通った「わたり」がある

内堀4号墳



『わたり』

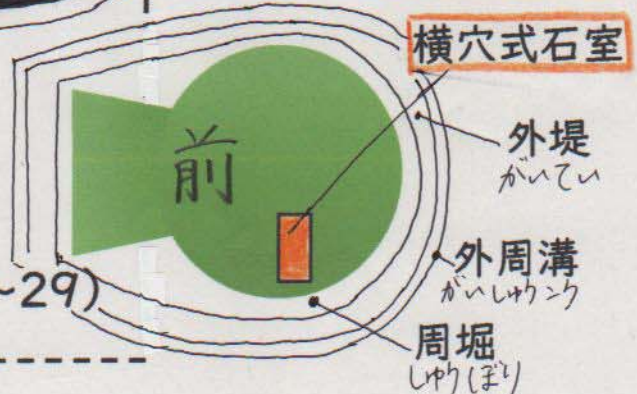
外堀

中堤

まえふたごこふん  
前二子古墳

- ・上段墳丘に葺石がある
- ・石室は横穴式。門や扉があり、床面には凝灰岩が敷かれている。さらに内部は「べんがら」で着色されている

★尾崎先生による石室実測(昭和27年 7/7~29)



横穴式石室

外堤  
がいてい

外周溝  
がいしゅうこう

周堀  
しゅうぼり



# 大室古墳群の副葬品

しょうふたごこふん

## 小二子古墳

この古墳は他の3つよりも小規模ながら多数の埴輪・装身具などが見つかっている

うしろふたごこふん

## 後二子古墳

この古墳から出土した円筒埴輪には「親子猿」や「犬」の小像がつけられていた。また馬形埴輪は大阪府四天王寺宝物館の「人が乗る馬形埴輪」と同じ作者であるとされる

この古墳からは日本全国でも数例しかない円筒埴輪に人の顔が表現されたものが見つかっている。またこの埴輪に海面骨針の化石と結晶片岩の砂粒が入ることから、藤岡市周辺で作られた埴輪が運ばれたとされている



▲人が乗る馬形埴輪

なかふたごこふん

## 中二子古墳



▲人面付円筒埴輪

土器、埴輪、装身具、鏡、金メッキされた馬の飾り金具などが出土。この古墳の円筒埴輪は古墳群の中で最大。また杖形埴輪（石見型埴輪）は遠く離れた奈良県のものによく似ている。さらに「四神付飾土器」というものが出土しており、これは朝鮮半島南部のものと同じ小像がつけられている。

まえふたごこふん

## 前二子古墳

★尾崎先生が石室実測を行った（昭和27年7/7~29）



◀杖形埴輪